



現場から（最近のニュースから）

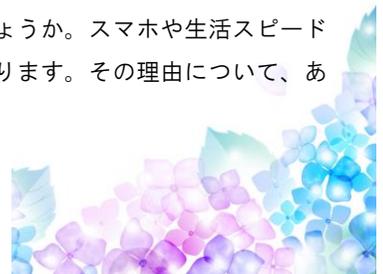
スマホがなかったら



6月22日朝日新聞の天声人語に、近未来を描いた水沢悦子さんの『ヤコとポコ』という漫画についての記事がありました。その世界は人間とロボットが共存する平和な世界で、スマホは存在しなくて、通信機器は固定電話とファクスだけで、高速道路の最高速度は40キロだということです。子どもたちは輪投げや射的で遊ぶことが描かれているということです。そのようになった理由は、技術発展の果てに悲劇が起き、革命を経て社会が一変したからという設定だそうです。突き進むことをやめた人々は生活のペースを落としたのだということです。

天声人語では、そのようなことが私たちの現実にも起こるのではないかとされています。高速通信に支えられ、AIが急速に進歩して行き着く先で、人間が幸せになれるとは思えないからだということです。そして、スマホ依存について、言及しています。そのような依存が起きるのは、ページをめくるごとに脳内で快楽物質のドーパミンが放出されるからだということです。実際に、若者の心の健康への悪影響が世界中で懸念されています。『ヤコとポコ』という漫画では、違法な超高性能ロボットの製造を知って怒る学者が涙ながらにつぶやいているということです。「またたくさんの死者が出る。どうしてほどほどにできないんだ」と。便利さと危険の間で悲鳴が聞こえるということばで結んでありました。

確かに、生活はどんどん便利になっています。そして、生活のスピードはどんどん速くなっています。しかし、人々の病は複雑化して増えています。精神的に患う年齢が低くなっているとも言われています。では、スマホがなくなり、固定電話とファックスだけで、生活のスピードが遅くなるなら、平和は訪れるのでしょうか。実際に、スマホが登場する前の時代、人々は争いや悩み、苦しみはなかったでしょうか。人間は、太古の昔から、何かがあれば幸せになると思い、さまざまな努力をしてきました。それによって、生活は便利になり、たくさんの情報を手に入れることもできるようになりました。しかし、昔から小さなめごとや大きな争いは、ありました。文化や文明が変わったとしても、人間は変わらず、繰り返して戦っていることは、歴史を見ても分かります。なぜでしょうか。また、そのような人間が変わることができるのでしょうか。スマホや生活スピードのせいではなく、ほんとうの理由があり、その理由を知る必要があります。その理由について、あなたにお分かちしたいのです。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあり、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください